

試合番号 : 453	試合会場 : ひたちなか市総合運動公園総合体育館	観客数 : 1,008			
開始時間 : 11:00	終了時間 : 12:22	試合時間 : 01:22	主審 : 桑原 健輔	副審 : 饗庭 和恵	
東レアローズ	通算 22勝 6敗 ポイント : 63	25 第1セット 21	PFUブルーキャッツ	通算 10勝 18敗 ポイント : 30	
監督コメント	ゲームの入りが悪く、サーブミスやフェイントを落とすなど、つまらないミスが目立ってしまいました。 第2セット以降、前半で点差をつけることができても、精度を欠いたプレーから追いつかれる展開が多かったため、しっかりと修正していきたい。 本日は応援ありがとうございました。	3	0	昨日、今日と2日間にわたり、たくさんのお褒めありがとうございます。 上位チームとの連戦で自分たちの良い部分を出すことができていると思います。 ただ、連続失点している部分と得点チャンスで取り切れていないところを、次週に合わせて修正していきたいです。	
					25 第2セット 21
					25 第3セット 22
					第4セット
					第5セット
要約レポート	第1セット序盤、東レアローズは小川のサービスエースで抜け出すかと思われたが、すぐにPFUブルーキャッツは追いつく。中盤にかけてPFUはアコスタ、鍋谷の連続得点でリードするが、東はクランのブロック、石川のスパイクですぐに追いつく。点差がつかないまま両チームはメンバーチェンジを行い、東は相手のスパイクミスから抜け出す。PFUはジャンやバルデスのブロックで詰め寄るが、石川のアタックブロックで東しがセットを奪った。 第2セット、序盤は互いに力強い攻撃、緩急をつけた攻撃で得点を奪い合う。中盤、東は小川のサーブからPFUのディフェンスを崩し、石川の連続得点で抜け出す。PFUは堀口を入れて立て直しを図るが、東しの勢いは止まず一時7点差をつける。PFUは粘りを見せ、志摩、堀口、ジャンの得点で詰め寄り、細沼の連続ブロックポイントで追いつく。しかし、最後は東しが小川のサーブから石川の3連続得点でセットを連取した。 第3セット、序盤から東しの勢いが続く。PFUはバルデス、鍋谷の得点で詰め寄るが、東しは要所で石川が得点を奪い追い上げを許さない。その後もクラン、石川などの得点で着実に得点を重ねた東しが、粘るPFUを振り切って勝利した。				

試合番号 : 454	試合会場 : ひたちなか市総合運動公園総合体育館	観客数 : 1,287			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:18	試合時間 : 02:18	主審 : 菅原 潤	副審 : 増岡 三佳子	
日立Astemoリヴァーレ	通算 12勝 16敗 ポイント : 36	22 第1セット 25	久光スプリングス	通算 19勝 9敗 ポイント : 55	
監督コメント	今シーズン最後のホームゲームということもあり、何としても勝ちたい試合でしたが、力強いご声援の中で敗れてしまい、悔しく思います。 最終接戦の我慢比べとなり、全セットで嫌れない展開になりましたが、大事なところで失点が敗因だったと思います。 弱さを一つでも克服し、次につなげたいと思います。 今シーズンの残りの試合は遠征になります。コンディションを整え、チーム一丸となってより多くの勝ち星をあげたいと思います。 最後まで粘り強く戦い抜きますので、引き続きご声援よろしくお願ひします。 ホームゲームのご声援ありがとうございました。	1	3	日立Astemoのディフェンスには毎回苦しめられる場面が多く、特に強打に強いチームだと感じています。 相手のディフェンスによって、こちら側もオフェンスを工夫しながら試合を行いました。なかなか簡単に決めることができませんでした。 ラリーの中でブロックポイントが多く出たことが勝因の一つだと思います。 V・レギュラーラウンドで負けられない試合が続きますが、意識せずに一戦一戦ベストゲームができるようにしっかり準備していきます。 2日間、たくさんのお褒めありがとうございます。	
					25 第2セット 27
					26 第3セット 24
					22 第4セット 25
					第5セット
要約レポート	第1セット、序盤から両チームの主導権争いが続く。日立Astemoリヴァーレは入澤のサーブから連続得点し、流れを掴みかけるが、久光スプリングスはファンヘッケ、石井の攻撃で食らいつく。終盤までもつれたが、最後は久光が濱松のスパイクでセットを先取した。 第2セット、久光は前セットの流れのままに、濱松のブロックなどでスタートダッシュに成功する。しかし、日立Astemoは長内、オクム大庭を中心に追い上げ、またも白熱したシーソーゲームになる。20点以降は打ち合いとなり、これを制した久光がセットを連取した。 第3セット、後がない日立Astemoは野中のライト攻撃が連続で決まる。対する久光はセッター柴の的を絞らせないトス回しから、強弱をつけた攻撃で点差を広げていく。中盤に日立Astemoは倉田のサーブ、空岡のスパイクで反撃の狼煙を上げ、長内のスパイクで逆転セットを取り返した。 第4セット、久光はファンヘッケ、中島にトスを集め、一気に点差を離そうとする。日立Astemoは粘り強いレシーブから攻撃に繋げ、得点を重ねる。日立Astemoは前セットと同様に、倉田のサーブから追い上げを見せたが、久光が逃げ切り勝利した。				

試合番号 : 455	試合会場 : 埼玉県立武道館	観客数 : 600			
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:25	試合時間 : 01:25	主審 : 林 淳一	副審 : 上總 向貴	
NECレッドロケッツ	通算 18勝 10敗 ポイント : 58	25 第1セット 19	ヴィクトリーナ姫路	通算 5勝 23敗 ポイント : 20	
監督コメント	今日も自分たちの時間を長く作り出し戦うことができ良かったです。サーブが効果的に機能し相手にストレスを与え続けられたので、来週2戦に向けても継続して攻めていけるようにしたいです。 今週もたくさんのお褒めありがとうございます。苦しい戦いは続いていきますが、皆様の応援を力に頑張っていきたいと思ひます。 引き続きよろしくお願ひします。	3	0	本日もたくさんのご声援をいただき誠にありがとうございました。 昨日のゲームで出来なかった攻撃の修正とメンタル面の修正を図って今日のゲームに臨みましたが、十分な力を発揮することができませんでした。 しかし、第1セットの序盤に意図した攻撃を展開することができていない状況から、終盤に粘り強い守備で得点を重ねることができた点はよかったと思ひます。 今日のゲームをしっかり振り返り、学びを得て次のゲームに臨みたいと思ひます。 引き続きのご声援をよろしくお願ひ申し上げます。	
					25 第2セット 22
					25 第3セット 20
					第4セット
					第5セット
要約レポート	勝ち星をあげてファイナル4に望みを繋ぎたいNECレッドロケッツとヴィクトリーナ姫路の一戦。 第1セット、NECはサーブで姫路を崩し、上野や古賀のスパイクで得点をあげると、流れに乗りリードを広げていく。中盤、姫路は佐々木のAクイックやブラクのサイド攻撃などで食い下がると、終盤に田中がライトから鋭いスパイクを決め、連続得点で巻き返す。しかしNECの勢いを止めることはできず、最後はNECが鳥村のAクイックでセットを先取した。 第2セットは序盤から両チームとも熱いプレーを見せ、白熱した展開となる。姫路は的を絞らせない多彩な攻撃で得点をあげていくが、NECは要所で古賀がサービスエースやブロックを決め、優位に試合を進めていく。NECは最後までリードを守り、古谷のサーブプレッシュから上野がAクイックを決めてセットを連取した。 第3セット立ち上がり、後がない姫路は佐々木のスパイクで流れをつかみにかかるが、古賀や上野のライン際へのスパイクによる連続得点に阻まれ、苦戦を強いられる。中盤、姫路は田中、佐々木らが、両サイドから鋭いスパイクを打ち込み、徐々に点差を詰めていくが、NECはリベロ小島などの粘り強い守備に支えられ、緩急をついた攻撃で姫路を突き放し、最後は鳥村がブロード攻撃を決めて連勝を飾った。				

試合番号 : 456	試合会場 : 埼玉県立武道館	観客数 : 1,372			
開始時間 : 15:00	終了時間 : 17:09	試合時間 : 02:09	主審 : 渡部 菜保子	副審 : 津嶋 由香	
埼玉上尾メディックス	通算 20勝 7敗 ポイント : 58	25 第1セット 21	トヨタ車体クインシーズ	通算 12勝 16敗 ポイント : 33	
監督コメント	上尾でのホームゲーム、たくさんの方々に会場へ足を運んでいただきありがとうございます。 ホームゲーム2連勝することができ嬉しく思います。 第2セット以降、トヨタ車体クインシーズのリズムで試合が進み苦しい時間帯が続きました。その中でも選手達は自信を失わず粘り強く戦ってくれました。 埼玉上尾メディックスの攻撃が抑えられる場面もありましたが、その後に変化できたのが収穫でした。 リーグ戦も終盤ですが、焦らずに小さな成長を積み重ねていきたいと思ひます。	3	1	セットカウント1-3で敗れ悔しいものの、選手は集中力を切らさずに最後までよく戦ったと思います。 来週に向け、接戦を制するためのキーポイントをしっかりと見つめ直し、取り切れるように戦いたいです。 本日も応援ありがとうございました。残り試合も少なくなりますが、1試合1試合全力で戦いますのでご声援よろしくお願ひします。	
					31 第2セット 33
					25 第3セット 22
					25 第4セット 18
					第5セット
要約レポート	ファイナル4進出に向けて勝利を挙げたい埼玉上尾メディックスとトヨタ車体クインシーズの一戦。 第1セット、序盤から両チーム多彩な攻撃にも関わらず、レシーブを繋ぎ一進一退の展開となったが、徐々に埼玉上尾がリードを奪う。トヨタ車体はダニエルの鋭角に攻めるアタックや、嶋原の安定した攻撃で追い上げる。後半、埼玉上尾はに井田の力強いブロックやアタックをきっかけに、内瀬、ロソらの活躍でセットをものにした。 第2セット、トヨタ車体は大川とダニエルの攻撃でリードするも、埼玉上尾はロソのコーナーを突くアタックや内瀬のブロックが鮮やかに決まると、じわじわと逆転。しかし、中盤はどちらのチームも全員で粘り強く闘うナイスプレーが続く。会場が沸く。デュースにもつれ込み、観客と選手が一体となり非常に盛り上がりつつあったこのセットは、トヨタ車体がダニエルの連続得点で締めくくった。 第3セット、粘り勝ちしたトヨタ車体は、ハッターのブロックとアタックで先制するが、埼玉上尾は青柳のアタックで巻き返しを図る。しかし、トヨタ車体はダニエルや嶋原のキレの良いアタックや周田のノータッチエース、クイックといった攻撃で順調にリードする。終盤、埼玉上尾はサンティアゴのアタックをきっかけに、佐藤、内瀬らからのアタックで流れを引き寄せ同点まで追い上げると、ロソの連続得点で逆転を果たし、セットを取った。 第4セット、多彩な攻撃パターンにも拘らずに低いボールを拾う埼玉上尾の山岸や、トヨタ車体の山上、嶋原らの鉄壁の守りに観客から称賛が贈られる。見応えのあるラリーが続く拮抗した展開も、中盤以降、埼玉上尾がサンティアゴやロソの力技や相手の隙を突くアタックで確実にリードを広げ、勝利を手にした。				

試合番号 : 457		試合会場 : ベイコム総合体育館 (尼崎市記念公園)				観客数 : 1,297	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:00		試合時間 : 02:00		主審 : 明井 寿枝	
副審 : 吉岡 奈々		通算		通算		通算	
JTマーヴェラス		20勝 8敗 ポイント: 59		21 第1セット 25		デンソーエアリービーズ	
監督コメント		1		25 第2セット 19		3	
要約レポート		3		21 第3セット 25		19 第4セット 25	

監督コメント: 尼崎ホームゲーム2日目、相手はミドルブロッカーを軸に攻撃を組み立てて来る。自分達はアタックの決定率と効果率を上げることを念頭に臨んだ。これからコートに入っている選手が勇気を持ってプレーし、応援して下さる方々にも、その勇気が伝わるような試合をしていきます。2日間たくさんの方々にご声援を頂きありがとうございます。

監督コメント: 今日はどんな展開、場面でも、仲間を信じて戦おうと試合に臨みました。序盤からチームの強みの粘りを出せて、良いゲームの入りができました。第2セットは相手の攻撃を抑えられませんが、第3セットからはサーブとブロックでブレイクチャンスを作ることができました。どんなボールも諦めずに繋ぐ姿勢や決まった時のチームの一体感を、見ている皆さんにお届けできたと思います。2日間熱いご声援ありがとうございます。残り5試合も全力で勝ちにいきます。

要約レポート: 連勝に向けてラストスパートをかけるJTマーヴェラスのホーム最終戦は、デンソーエアリービーズが3-1で勝利した。第1セット、JTは柳原の活躍で、デンソーは横田(真)のアタックで得点を重ねる。中盤、デンソーは中元のアタックを繼いで4連続得点して主導権を握り、セットを先取した。第2セット、デンソーは横田(紗)、JTは田中が活躍し、両者一歩も譲らない展開となる。後半に入り、JTはタツタオのブロックでリードすると、着実に得点を重ねてセットを取り返した。第3セット、JTは和田がアタックを要所で決めてリードするが、デンソーはネリマンのバックアタックが決まり16-16とする。終盤、デンソーは兵頭のアタックで抜け出し、セットカウントを2-1とした。第4セット、連続ブロックポイントで波に乗るデンソーに対してJTは我慢の展開となる。JTはロウにボールを集めて流れを変えようとするが、デンソーは勢いを止めることなく勝利した。

試合番号 : 458		試合会場 : ベイコム総合体育館 (尼崎市記念公園)				観客数 : 720	
開始時間 : 15:45		終了時間 : 17:41		試合時間 : 01:56		主審 : 佐々木 伸子	
副審 : 富田 博一		通算		通算		通算	
岡山シーガルズ		8勝 20敗 ポイント: 27		25 第1セット 23		KUROBEアクアフェアリーズ	
監督コメント		3		24 第2セット 26		1	
要約レポート		25 第3セット 21		25 第4セット 22			

監督コメント: 負けられない一戦で、若い両エースが最後まで強気でやり切ったことが勝利の要因である。常に後がない厳しい気持ちを持ち続けることが大切である。V・レギュラーラウンド残り5試合、この2戦の教訓を生かし勝利に挑戦したい。2日間にわたり、たくさん熱い応援をありがとうございます。

監督コメント: 相手チームの強固な守備に対し慌ててしまい、ミスが出てしまった。また、劣勢になったことにより焦りが出て落ち着くことができず、敗戦となった。試合は残り僅かとなるが、チームが成長すべく課題を抽出し、全員で戦いたい。本日も応援ありがとうございます。

要約レポート: V・レギュラーラウンドが終盤を迎える中、一つでも多くの勝利を挙げたい岡山シーガルズとKUROBEアクアフェアリーズの対戦。第1セット、岡山は中本が随所でアタックを決めて大きくリードするが、KUROBEは梅津の活躍で流れを変えて22-22とする。しかし、岡山は佐伯のアタックで再び2点差とし、セットを先取した。第2セット、岡山は川島、長瀬のブロックが要所で決まりリードする。しかし、KUROBEはイヴェギンが奮戦し土壇場で追いつくと、最後は佐藤(梨)がサーブエースを決めてセットを取り返した。第3セット、KUROBE安田がトスフェイントを決めれば、岡山は宮下が絶妙なトスワークを見せる。終盤までシーソーゲームとなったこのセットは、粘るKUROBEを振り切った岡山がセットカウントを2-1とした。第4セット、KUROBEはコラムにボールを集めて、岡山は城戸(陽)の好レシーブを繋いで互いに得点を重ねる。中盤に入り、岡山はタナッチャのアタックから徐々にリードし、佐伯が要所を締めて勝利した。

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		通算		通算	
		-勝 -敗 ポイント: -		第1セット			
監督コメント				第2セット		監督コメント	
要約レポート				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		通算		通算	
		-勝 -敗 ポイント: -		第1セット			
監督コメント				第2セット		監督コメント	
要約レポート				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			